



はじめに

安平町には 民間事業者による鉄道・バス・ハイヤーのほか、商工会によるデマンドバス、そして町が運行するせいこドームバスなど様々な「地域公共交通」が町内で運行されています。

しかし、これら公共交通の中には町が多額の費用を負担しているもの、利用者数の非常に少ない路線や類似した区間を運行する路線など、非効率な状況があります。

そのため、これまで以上に多くの方に公共交通を利用して頂くための方策について、町民の方々からご意見をお伺いしながら、将来にわたって持続可能で利用しやすい公共交通となるよう改善していく必要があります。

安平町の地域公共交通について協議する「安平町地域公共交通会議」

安平町では 地域のニーズに即した公共交通のあり方について協議を行う「安平町地域公共交通会議」を平成 22 年に設置し、現在までに様々な検討を行っています。

平成 28 年度は既存の公共交通を有効に活用し、地域住民の足を支えるだけでなく、道の駅をはじめとした人を回遊・交流させて地域活性化に資する交通など、他のまちづくり施策も踏まえた計画として、安平町地域公共交通網形成計画を策定します。

構成員

- 追分地区町内会連合会
- 安平地区連合自治会
- 早来地区自治会連合会
- 遠浅地区自治連絡協議会
- 安平町老人クラブ連合会
- あつまバス株式会社
- 有限会社早来ハイヤー
- 有限会社追分ハイヤー
- 北海道旅客鉄道株式会社
- 北海道地方交通運輸産業労働組合協議会室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会
- 学識経験者（苫小牧工業高等専門学校教授）
- 安平町商工会
- 北海道運輸局室蘭運輸支局北海道胆振総合振興局
- 安平町

第 1 回 地域公共交通会議を開催しました

開催日：平成 28 年 8 月 2 日（火） 15:00 ～ 16:00

場 所：安平町役場早来庁舎 第 1 会議室



地域公共交通網形成計画の策定に向けた目的と方針

安平町では平成 27 年度に安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しており、その中で人口減少社会への対応として「子育て世代に選ばれるまち」「生涯住み続けられるまち」を目指しており、地域公共交通網形成計画もその戦略の 1 つとして位置づけられています。

方針を基軸として今年度で地域公共交通網形成計画を策定することの共通認識をとりました。

方針 1：公共交通を真に必要とする住民のニーズと移動実態を把握して最適な計画を創る

方針 2：まちづくりと連携して「利用してもらえる」公共交通を構築する

方針 3：町民の納得性が高い地域公共交通網形成計画とする

実態を把握するために実施する調査

以下の調査の実施に合意を得ました。

① **路線バス及び JR 駅の利用実態調査** | 町内を運行する路線バス及び JR 駅の利用者の動向を調査

② **住民ヒアリング調査** | 地域住民の日常生活における移動状況をお聞きし、公共交通による移動の支援策や利用者数の向上を図るために必要な利用促進方法について調査する

協議内容

実態調査の実施

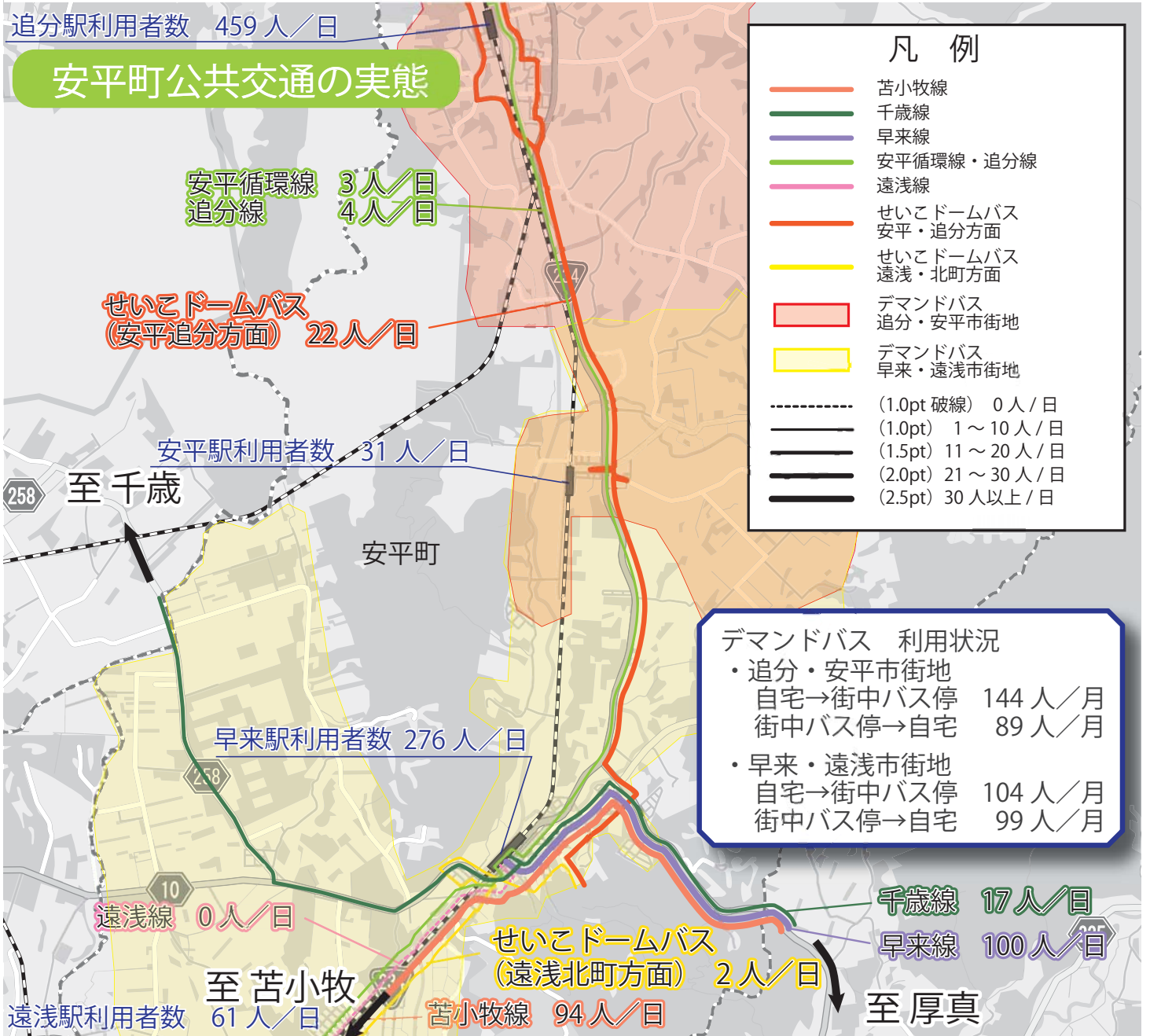
(1) 路線バス及び JR 駅の利用実態調査

実施しました！！

実施日	平成 28 年 8 月 24 日 (水) [せいこドームバスのみ 23 日 (火)]
対象路線	苦小牧線・千歳線・早来線・安平循環線・追分線・遠浅線 せいこドームバス
対象駅	追分駅・安平駅・早来駅・遠浅駅

当日は調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

利用実態調査によって、利用者の多いバスや駅、利用目的、時間帯別の利用状況、学生や高齢者などの利用者の属性などを把握しました。
この結果を基礎データとして最大限活用し、より効率的で利用しやすい公共交通のあり方を検討していきます。



(2) 住民ヒアリング調査の実施 (～11月)

今後の予定

実施概要

老人クラブや町内の集客施設をご利用の方々等に利用しやすい地域公共交通に向けた聞き取り調査を実施させていただきたく準備中ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。